

令和7年度「国語特講」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
国語特講		選択	2	普通（文型）
教科書 副教材等	新編 古典探究（東京書籍） 進研 WINSTEP Plus 古典			

1 学習目標

普通（文型）の「古典」分野を補い、さらに幅広い国語力を身につけるための、本校独自の科目です。目標は、古典に関する幅広い知識を増やして古典（古文・漢文）の読解力を高めることです。

2 学習概要

(1) 読解力を身につける

主に古文・漢文の問題演習を行います。

(2) 記述力を身につける

入試レベルの記述問題への対応ができる記述力を養います。

(3) 知識を増やす

古文単語、古典常識、漢文の句形、文学史等について、各種教材を用いて学習し、知識の定着を図ります。

3 学習方法

(1)「読解力」については、自分がこれまでに身につけた事柄を総動員して取り組んでください。大学入試では、自分が持っている知識の量と、知識をつかって問題解決をする応用力とが試されます。多くの問題を読み解くことによって知識や応用力が身につきます。

(2)「記述力」については、「読解力」が基礎になります。多くの問題を読み解くことによって身につきます。最初から諦めずに自分なりに考え、必ず答えを書きましょう。

(3)「知識を増やす」には、分からない単語や古典世界の疑問が出てきたら自分で調べ、それらを繰り返し学習することが大切です。また、機械的に覚えるのではなく、ことばの語源や文章中での用法など、

4 試験と評価について

(1) 評価方法

「知識・技能（①）」、「思考力・判断力・表現力（②）」、「学びに向かう人間性（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能（①）	思考力・判断力・表現力（②）	学びに向かう人間性（③）
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
一 学 期	【作り物語を読む】 ・竹取物語 「天の羽衣」 ・大和物語 「馬ぶね」 【故事と小話】 ・蛇足 ・晩くこれを救はん	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 ・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉える。	期末考查
二 学 期	【日記を読む】 ・土佐日記 「馬のはなむけ」 ・更級日記 「門出」 入試問題演習 【中国の知恵】 ・寓話 「出藍誉」「塞翁馬」「杞憂」 入試問題演習	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとする。	期末考查
三 学 期	【軍記物語を味わう】 ・平家物語 「壇の浦の合戦」 入試問題演習	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。	